

新学期がはじまって、一か月がたちました。

一年生のみなさんは、いつの間にか、中学生らしい立ち居振る舞いができるようになっていきます。二、三年生のみなさんは、昨年度、集団の中で育ててきた個人の力を見事に発揮しています。すばらしいスタートの一か月でした。

とくに、みなさんのこの一か月の様子を見て、感心するのは、みなさんが仲間とともに活動することを楽しんでいるということです。

昼休みに、新しい仲間との関係をつくるために、学級レクを行う学級がありました。その学級のみなさんは、新しい仲間と実に楽しそうに遊んでいました。遊びを通して、どんどん互いの距離が近づいている、そんな印象でした。またその一方で、同じ昼休みに、気の合った仲間とバレーボールやサッカーをやる姿、友だちと自学館で目当ての本を探す姿、一人一人が自分の思い思いの過ごし方をしている姿もありました。

そして昼休みを、学級の活動として過ごすみなさんにも、自分の意思で過ごすみなさんにも共通していることがありました。それは、穏やかな気持ちで、学校生活を楽しいものにしようという意味が感じられたことです。私たちの行動は、必ずその時々自分の感情で裏打ちされています。いつもかならず当てはまるとは限りませんが、学校生活を楽しいものにするのも、そうでなくするのも、自分の気持ちが影響していることはまちがいありません。

私は、みなさんが自分たちの学校生活をよりよいものにしていこうという意思をもって、学校生活を過ごしていることをうれしく思います。

そして、学校生活を楽しむ姿は、授業中にも見られました。

四人で行う協同学習を、一年生のみなさんもとてもうまく授業に取り入れています。どう考えればよいのだろうと仲間と知恵を出し合う場面をよく見ます。互いに分からないところを教え合ったり、仲間とあれこれ考えたりすることは、先生の話の聞いているだけの授業よりも、ずっと学んだことが定着すると科学的にも証明されています。

また、協同学習は、先生の力を借りないで、自分たちだけで学習を進めるものです。まさに「自学」の時間です。授業もだんだん本格的になっていきます。一か月後には、中間テストもあります。頑張りましょう。

そして、今日から五月の教育活動が始まり、5月26日には体育祭があります。一年生のみなさんは初めての体育祭であり、二年生のみなさんも、この時期に行う初めての体育祭です。

体育祭のねらいは、学級の仲間とのつながりを強くすることです。野外総合活動では学年として、学習発表会では全校としてのつながりをつくり、仲間の輪をどんどん広げていきます。体育祭はその第一歩です。

体育祭の取組は、約二週間です。体育祭には、競技を楽しむレクとしての種目と、学級のまとまりをつくるための種目があります。

とくに、学級のまとまりをつくる種目には、練習が設定されています。それらの種目では、仲間と呼吸を合わせることがポイントです。仲間の思いを想像し、互いに支え合い励まし合って、仲間とやり遂げた喜びを味わってほしいと思います。

学級には様々な仲間がいます。リーダーシップのある人、リーダーをしっかり支える人、元気な人、静かな人、まわりを明るくする人、まわりの人に気遣いができる人、…。

これら様々な仲間が、心をつなげて競技に取り組みます。それぞれ得意なことがちがうのですから、同じことをやろうとしても、初めはうまくいきません。その困難をどうやって乗り越えるか、ここが重要です。

元気のいい人ばかりで、確実に仕事をこなす人がいないと、物事がうまく進まないことがあります。確実に仕事をこなす人ばかりで、無謀だと思えることが言い出せる人がいないと、大きく飛躍できないことがあります。つまり、様々な人がいて、集団で力を合わせることが、物事を確実に、そして大きく進めるのです。

また、スポーツが得意でない人は、スポーツが得意な仲間に支えてもらえばよいと思います。野外総合活動や学習発表会、文化集会でそのお返しをすればよいのです、あるいは、日々の係活動の中で、そのお返しをすればよいのです。人間は支え合って生きています。

ぜひ、この体育祭では、一人一人が自分の持ち味を発揮して、その総和としての新たな学級の力を見出し、学級のまとまりをつくってほしいと思います。

今は一か月頑張ってきた疲れが、少しずつ出始める時期でもあります。つらい気持ちがあれば、そのつらさはどこから来るのかをじっくり考えてみてください。それを見付けるために、先生やスクールカウンセラーの先生とじっくりの話し合うこともできます。

五月の教育活動が始まりました。この五月もみなさんと楽しい学校生活をつくっていきたいと思います。